

日本郵船横浜海岸通倉庫(現 BankART Studio NYK) 次期運営団体が決定しました

- 横浜市は、平成 16 年度から NPO 法人と協働で、日本郵船横浜海岸通倉庫（以下、「本施設」といいます）を「BankART Studio NYK」として活用してきました。本施設は、アーティスト・クリエイターが創作・発表・滞在する、横浜市の重要な創造界限拠点です。
- 今回、本施設の次期運営団体を公募したところ、4 者（3 団体、1 グループ）から応募があり、分科会による選考の結果、**特定非営利活動法人 BankART1929 を次期（平成 26 年度から）運営団体として決定しました。**

1 次期運営団体

（運営期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

名称：特定非営利活動法人 BankART1929

設立：平成 16 年 3 月

（法人格取得：平成 19 年 4 月）

所在地：横浜市中区海岸通 3-9

※ 同団体は、本施設の現運営団体です。



【日本郵船横浜海岸通倉庫】

2 提案の概要（応募書類より抜粋）

これまで実践、実現してきた次の 4 点を、より高度な次元で推進展開していく。

- ① 地域及び周辺施設と連携しながら、新しい横浜文化を創造し、発信していくこと
- ② 多都市及び国際的なネットワークの構築
- ③ さらなる BankART の経済的な基盤の確立
- ④ 創造界限クリエイターたちの誘致及びその経済的な構造の土俵づくり

3 分科会の講評

4 応募者の提案は、いずれも各々の強みを生かした積極的なものでしたが、特定非営利活動法人 BankART1929 の提案は、公募要項に掲げる「現在までの成果の継承・発展」を意識した、創造都市施策全体への貢献を見据えた骨太の提案であるという点が高い評価につながりました。

今後も、日本郵船横浜海岸通倉庫を拠点として新しい横浜文化の創造を牽引するとともに、「まちの活性化」を意識した活動に積極的に取り組むことを期待します。

※ 公募の経過及び評価結果については、以下の URL をご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka/soutoshi/project/vicinity/nykkoubo/>

(参 考)

1 選考方法

公募型プロポーザル方式による選考を行い、「日本郵船横浜海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) 事業評価及び運営団体選考分科会分科会」が書類審査、公開プレゼンテーション・ヒアリング審査を実施し、もっとも高い評価 (得点) を獲得した応募者を、次期運営団体として選考しました。

分科会委員は次のとおりです (敬称略)。

議長	吉本 光宏	(株式会社ニッセイ基礎研究所、横浜市創造界限形成推進委員)
	恵良 隆二	(三菱地所株式会社、横浜市創造界限形成推進委員)
	川戸 眞澄	(株式会社サンケイリビング新聞社)
	竹久 侑	(水戸芸術館現代美術センター)
	近澤 弘明	(株式会社近澤レース店、横浜市創造界限形成推進委員)
	三木 隆二郎	(特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク)

2 本施設の目的

本施設は、横浜市が推進する創造都市施策における重要な創造界限拠点の一つであり、次の3点を目的として次期運営団体の公募を行いました。

- (1) 新しい横浜文化を創造すること
- (2) まちの活性化に貢献すること
- (3) 積極的な広報・発信によって、横浜の創造性・先駆性の周知に貢献すること

3 本施設の概要

名称 : 日本郵船横浜海岸通倉庫
所在地 : 横浜市中区海岸通3-9
構造・階数 : 鉄筋コンクリート造
地上3階建
面積 : 3,635.2㎡
建物主要用途 : 展示場・興行場・倉庫



問合せ先

文化観光局創造都市推進課 担当課長 大蔭直子 Tel 045-671-2277